

## T O P I C S

## 柄づくりによる自社商品開発の支援

## — 「オールドコレクション」の活用事例 —

繊維生活部 杉浦由季恵(すぎうら ゆきえ)

sugiura@irii.jp

専門：テキスタイルデザイン

一言：織編物サンプル「オールドコレクション」を  
ご活用ください。

「オールドコレクション」(図1)は、1860～1970年代のフランス・リヨン地方の織物や大正・昭和初期の和装用織物等、工業試験場と(株)繊維リソースいしかわが収集した貴重な約30000点の織編物サンプルです。現在は、(株)繊維リソースいしかわが管理し、17000点をホームページで紹介しています。工業試験場では、この「オールドコレクション」をアイデアソースや実習課題として、県内繊維企業の下請型から企画提案型への転換に向けた自社商品の開発支援を行っています。

主な支援内容は、①コレクションの時代背景や織り技術、色柄の美しさ等、特徴の解説、②製品コンセプトの絞り

込み、イメージマップの作成、③CGによる柄の抽出・合成等、基本的な画像編集加工(図2)の解説実習です。支援事例としては、ジャカード織物のオリジナルバック、クッション(図3)の製品化や、プリント柄の開発を進めている企業があります。

「オールドコレクション」は、時を経ても、柄づくりのアイデアソースとして十分活用が可能な魅力的なサンプルです。ご利用に際しては、工業試験場がアドバイスしますので、是非ご活用ください。

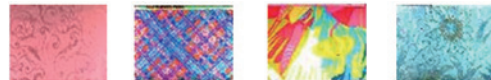
1860～1970  
年代のリヨン  
地方の織物大正・昭和  
初期の  
和装用織物

図1 「オールドコレクション」の一例

図2 画像編集加工による  
柄づくり事例

図3 試作開発